

ワイヤレススピーカーシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

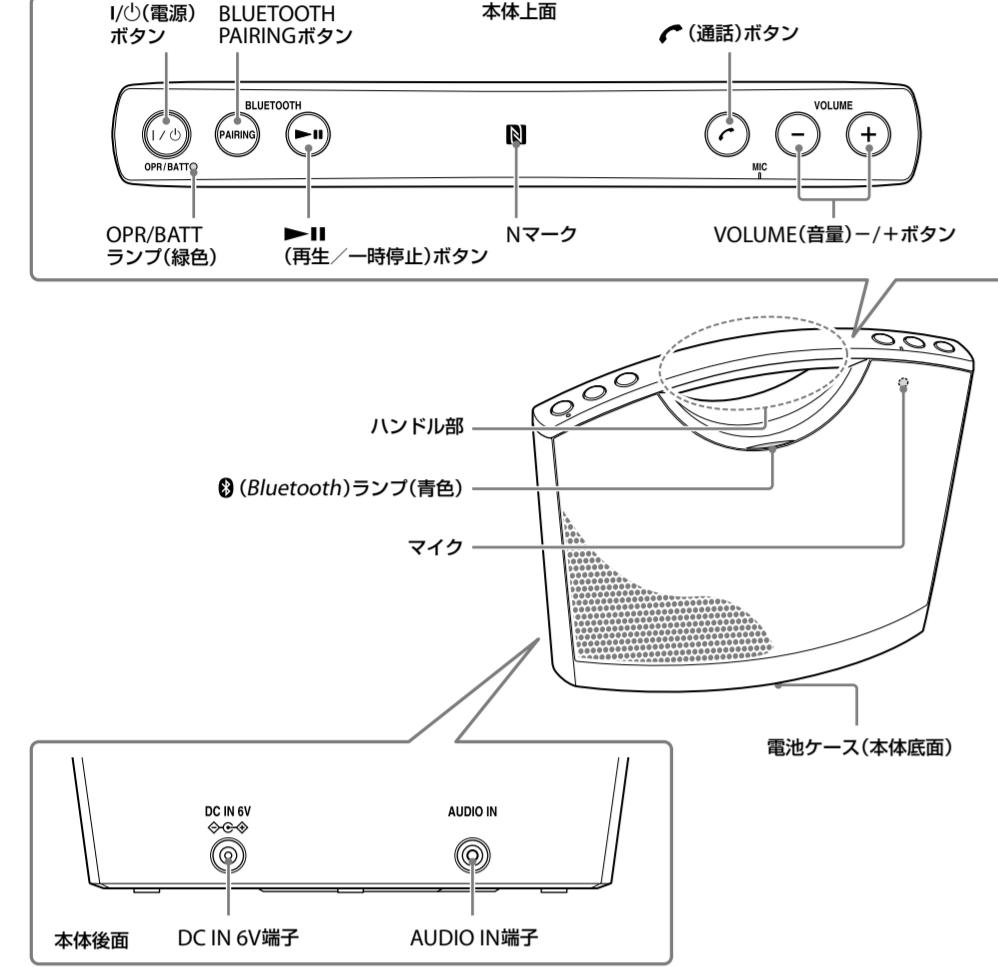
警告 この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。

この取扱説明書をよくお読みください。製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

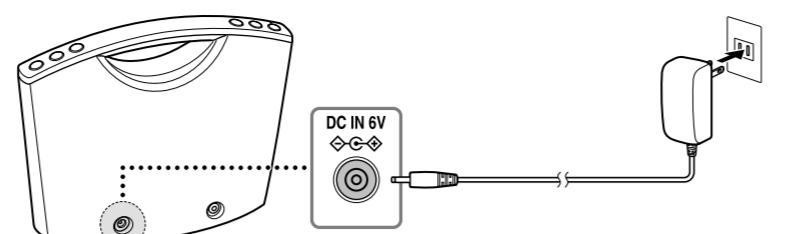


SRS-BTM8

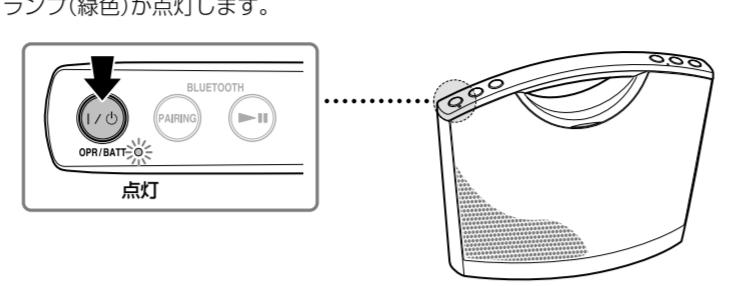


本機の電源を入れる

1 ACアダプター(付属)をつなぐ。

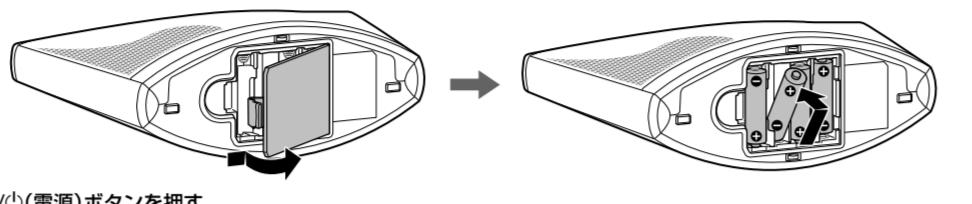


2 I/O(電源)ボタンを押す。



乾電池(別売)を使う場合

1 本機底面のふたを開けて、単3形アルカリ乾電池4本(別売)を入れ、ふたを閉める。



2 I/O(電源)ボタンを押す。

ご注意
本機にACアダプターを接続すると、乾電池が入っていても自動的にコンセントからの電源に切り換わります。ACアダプターが本機につながったままだと乾電池から電気が供給されませんので、乾電池を使うときは必ずACアダプターのプラグを本機から抜いてください。

Bluetooth機器を本機に接続する

お使いの機器に搭載されたBluetooth機能を使って音楽や通話をワイヤレスに楽しめます。音声を聞きたい機器の種類によって、次の3つのパターンから接続方法を選んでください。接続する機器の使いかたについて詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

はじめにペアリングするときは:[パターンA]へ

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めて本機と組み合わせて使う場合は最初にペアリングしてください。

ペアリング済みの機器を使うには:[パターンB]へ

すでに本機とのペアリングが済んでいる機器から音楽を聞く場合はこちらのパターンです。

NFC機能搭載のスマートフォンを使うには:[パターンC]へ

NFC機能搭載のスマートフォンなら、本機にタッチするだけでBluetooth接続ができます。

操作をはじめる前に、以下をご確認ください。

- 本機とBluetooth機器が1 m以内に置かれている。
- 本機が電源に接続されているか、乾電池(別売)が入っている。
- 接続するBluetooth機器の取扱説明書を準備する。

パターンA Bluetooth機器と本機をペアリング(登録)してから接続する

1 本機の電源を入れる。

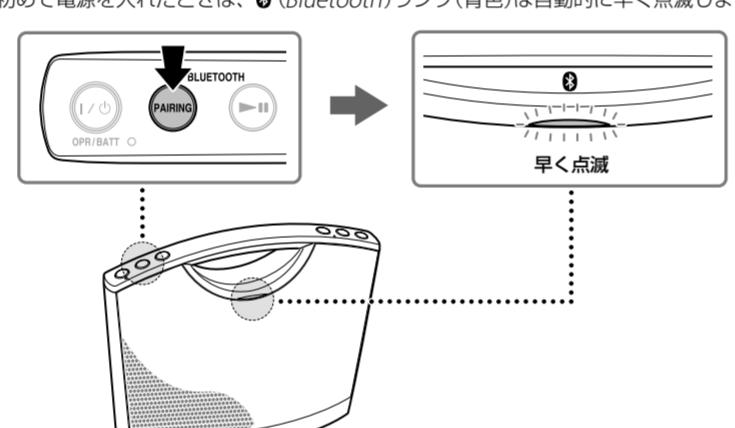
2 Bluetooth機器のBluetooth機能をオンにする。

詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

3 本機のBLUETOOTH PAIRINGボタンを、スピーカーからビーピ音が聞こえて **I/O(Bluetooth)ランプ(青色)**が早く点滅し始めるまで押し続ける。

ヒント

ご購入後に初めて電源を入れたときは、**I/O(Bluetooth)ランプ(青色)**は自動的に早く点滅します。



4 Bluetooth機器でペアリング操作を行い、本機を検索する。

Bluetooth機器の画面に「SRS-BTM8」が表示されない場合は、もう一度手順2から操作してください。

注意

機器によっては検出した機器の一覧を表示できない場合があります。

5 Bluetooth機器の画面に表示されている「SRS-BTM8」を選択し、決定する。

6 Bluetooth機器の画面でパスコード*の入力を要求されたら「0000」を入力する。

Bluetooth接続が完了し、本機の**I/O(Bluetooth)ランプ(青色)**が点滅から点灯に変わります。
* パスコードは、パスキー、PINコード、PINナンバー、パスワードなど呼ばれる場合があります。

ヒント

複数のBluetooth機器とペアリングするには、ペアリングしたい機器ごとに手順2~6を繰り返してください。

注意

本機のペアリングモードは約5分で解除され、**I/O(Bluetooth)ランプ(青色)**が遅い点滅に変わります。手順が完了する前に本機のペアリングモードが解除されてしまった場合は、もう一度手順3から操作してください。

本機のパスコードは「0000」で固定されています。パスコードが「0000」でないBluetooth機器とペアリングすることもできます。

*一度ペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合は再度ペアリングが必要です。

-修理を行なうなど、ペアリング情報が消去してしまったとき。

-5台以上の機器をペアリングしたとき。

本機は合計4台までのBluetooth機器をペアリングすることができます。4台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、4台の中でも最後に接続した時間が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報を書きされます。

*本機は複数の機器とペアリングできますが、それを同時に再生することはできません。

すべてのペアリング情報を削除するには

本機の電源が切れている状態でI/O(電源)ボタンを15秒以上押し続けてください。本機は工場出荷時の設定に戻り、すべてのペアリング情報は削除されます。

パターンB ペアリング(登録)済みのBluetooth機器と接続する

1 本機の電源を入れる。

I/O(Bluetooth)ランプ(青色)が点滅します。

2 Bluetooth機器のBluetooth機能をオンにする。

ヒント

電源を入れると、本機は自動的に前回接続していたBluetooth機器に接続しようとします。Bluetooth接続が完了すると、**I/O(Bluetooth)ランプ(青色)**が点滅から点灯に変わります。

3 Bluetooth機器の画面で表示されている「SRS-BTM8」を選択し、決定する。

プロファイルが選択画面が表示されたら次を選んでください。

• 音楽を聞くとき:オーディオ(A2DP)

• 通話するとき:ヘッドセット(HSP)、ハンズフリー(HFP)

それぞれのプロファイルについては、「音楽を聞く」または「音楽を楽しみながらハンズフリーで通話する」をご覧ください。

注意

Bluetooth接続が完了し、本機の**I/O(Bluetooth)ランプ(青色)**が点滅から点灯に変わります。

パターンC ワンタッチ(NFC)でスマートフォンと接続する

パターンC ワンタッチ(NFC)でスマートフォンと接続する

スマートフォンでタッチするだけで、自動的に本機の電源が入り、Bluetooth機器のペアリングや接続ができます。

1 スマートフォンに「NFC簡単接続」アプリをダウンロードする。

Google Playで入手できるAndroid専用の無料のアプリです。

「NFC簡単接続」で検索するか、以下の二次元コードでアクセスし、アプリをダウンロードします。ダウンロードでは別途通信料が発生します。

二次元コードでアクセス

二次元コード読み取りアプリでご利用ください。

QRコード



対応するスマートフォン

• NFC機能またはオサイフカード機能を搭載したスマートフォン

(対応OS: Android 2.3.3以降、Android 3.xを除く)

詳しくは、サポートページ(<http://www.sony.jp/support/av-acc/>)をご覧ください。

NFCとは

携帯電話やICタグなど、さまざまな機器間で近距離無線通信を行うための技術です。指定の場所に「タッチする」だけで、簡単にデータ通信が可能になります。

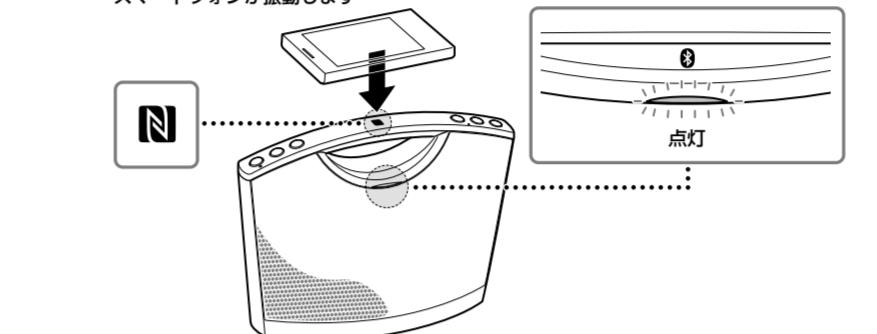
2 スマートフォンで「NFC簡単接続」を起動する。

アプリの画面が表示されていることを確認します。

3 スマートフォンを本機にタッチする。

本機のNマーク部分にスマートフォンをタッチします。スマートフォンが振動するまで、タッチし続けてください。

本機を認識するとスマートフォンが振動します



画面の指示にしたがって接続を完了してください。

本機の**I/O(Bluetooth)ランプ(青色)**が点滅から点灯に変わったら、本機とスマートフォンが接続された状態になります。

ヒント

• 接続がうまくいかないときは次のことを行ってください。

スマートフォンでアプリを起動し、本機のNマーク部分の上でゆっくり動かす。

スマートフォンにケースを付けている場合は、ケースをはずす。

• 接続を切断するには、キャラクターを一度タッチします。

• ハンドルなど他のNFC対応機器と接続しているNFC対応スマートフォンを本機にタッチすると、ワンタッチで本機に接続を切り換えることができます(乗り換え機能)。

音楽を聞く

お使いのBluetooth機器が次のプロファイルに対応している場合は、本機で音楽を楽しめます。

• A2DP(Advanced Audio Distribution Profile):高音質な音楽をワイヤレスに楽しめます。

• AVRCP(Audio Video Remote Control Profile):機器の基本的なリモコン操作(再生、一時停止など)ができます。

操作をはじめる前に、以下をご確認ください。

お使いのBluetooth機器が次のプロファイルに対応している場合は、本機で音楽を楽しめます。

• A2DP(Advanced Audio Distribution Profile):高音質な音楽を楽しめます。

• AVRCP(Audio Video Remote Control Profile):機器の基本的なリモコン操作(再生、一



安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、ちがつた使いたかすると、火災や漏電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に1度は、ACアダプターのプラグ部とコンセントの間にほりがたまっているか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットやACアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をお依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

● 電源を切る

● ACアダプターや乾電池を抜く

● ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・破裂・破裂などにより死亡やけがなどの人身事故が生じます。

△ 危険 大けがなど人身事故の原因となります。

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡やけがなどの人身事故が生じます。

△ 警告 大けがなど人身事故の原因となります。

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

注意 注意を促す記号

● 注意

● 火災

● 感電

行為を禁止する記号

● 禁止

● 分解禁止 細れ手禁止 接触禁止

● 行为を指示する記号

● 指示

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲

△ 大けがや失明 避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機では以下の電池をお使いいただけます。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

乾電池 単3形アルカリ、単3形充電式ニッケル水素

△ 危険 乾電池が液漏れしたとき

乾電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をささず、すぐに水道水などのきれいな水で洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症がかかる症があるときは医師に相談してください。

△ 警告

機器の表示に合わせて+と-を正しく入れる。

● 充電しない。

● 火の中に入れない。

● コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。

● 液漏れた電池は使わない。

● 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないとき取りはずす。

● 新しい電池を使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使用しない。

△ 注意

火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。

● 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。

● 指定された種類以外の電池は使用しない。

使用上のご注意

携帯電話について

● 携帯電話から本機へ音楽を送信しているときに、着信があった場合の携帯電話の動作について、詳しくはお使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

他機器からの影響

Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g)は同一周波数(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近傍で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- 本機とBluetooth機器を接続するときは、無線LANから10m以上離れておこなう。

- 10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

他機器への影響

Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では付属およびBluetooth機器の電源を切ってください。

- 本機とBluetooth機器を接続するときは、コードを引っ張らずに、必ずACアダプターを持っておこなう。

- ACアダプターを抜き差しする前、電源を切り替えてください。

- この状態では、付属のACアダプター(恒性形-形状)を使用する。

- 付属のACアダプターは本機専用です。他の機器ではご使用になれません。

- ACアダプターを組み込み式キャビネットなどの奥に設置しないでください。

取扱いについて

●スピーカーユニット、内蔵アンプ、キャビネットは精密に調整しております。分解、改造などはしないでください。

●次のような場所には置かないでください。

- 直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど、温度の高い所。

- 寒いところに自動車内(特に夏季)

- 高温多湿など、湿気の多い所

- ほりの多い所、砂地の上

- 時計、キヤッショカードなどの近く(防錆設置になっていますが、錆音添付テープや時計、キヤッショカード、フロッピーディスクなどはスピーカーの前に近づいてください)

●平らな場所に設置してください。

設置条件によっては、倒れたり落したりすることがあります。貴重品などを近くに置かないでください。

本機背面の端子や通風孔に異物を入れない

火災や感電の危険をさけるために、本機を水のかかる場所や湿気のあるある場所では使用しないでください。また、本機の上に、例えば火のついたローストのような火災原因置かないでください。

万一千、水や異物が入ったときは、すぐに本機の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

本機背面の端子や通風孔に異物を入れない

端子などがショートして、誤動作や故障の原因になることがあります。

雷が鳴りだしたら、ACアダプターに触れない

感電の原因となります。

ぬれ手でACアダプターにさわらない

感電の原因となります。

本体やACアダプターを布団などでおあつた状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

ACアダプターは抜き差しいやすいコンセントに接続する

本機は容易に手が届くよう電源コンセントに接続し、異常に生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。通常の電源を切つただけでは、完全に電源から切り離せません。

本機背面の端子や通風孔に異物を入れない

端子などがショートして、誤動作や故障の原因になることがあります。

雷が鳴りだしたら、ACアダプターに触れない

感電の原因となります。

ぬれ手でACアダプターにさわらない

感電の原因となります。

ACアダプターは抜き差しいやすいコンセントに接続する

本機は容易に手が届くよう電源コンセントに接続し、異常に生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。通常の電源を切つただけでは、完全に電源から切り離せません。

本機背面の端子や通風孔に異物を入れない

端子などがショートして、誤動作や故障の原因になることがあります。

雷が鳴りだしたら、ACアダプターに触れない

感電の原因となります。

ぬれ手でACアダプターにさわらない

感電の原因となります。

本体やACアダプターを布団などでおあつた状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

ACアダプターは抜き差しいやすいコンセントに接続する

本機は容易に手が届くよう電源コンセントに接続し、異常に生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。通常の電源を切つただけでは、完全に電源から切り離せません。

本機背面の端子や通風孔に異物を入れない

端子などがショートして、誤動作や故障の原因になることがあります。

雷が鳴りだしたら、ACアダプターに触れない

感電の原因となります。

ぬれ手でACアダプターにさわらない

感電の原因となります。

本体やACアダプターを布団などでおあつた状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

ACアダプターは抜き差しいやすいコンセントに接続する

本機は容易に手が届くよう電源コンセントに接続し、異常に生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。通常の電源を切つただけでは、完全に電源から切り離せません。

本機背面の端子や通風孔に異物を入れない

端子などがショートして、誤動作や故障の原因になることがあります。

雷が鳴りだしたら、ACアダプターに触れない

感電の原因となります。

ぬれ手でACアダプターにさわらない

感電の原因となります。

本体やACアダプターを布団などでおあつた状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

ACアダプターは抜き差しいやすいコンセントに接続する

本機は容易に手が届くよう電源コンセントに接続し、異常に生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。通常の電源を切つただけでは、完全に電源から切り離せません。

本機背面の端子や通風孔に異物を入れない

端子などがショートして、誤動作や故障の原因になることがあります。

雷が鳴りだしたら、ACアダプターに触れない

感電の原因となります。

ぬれ手でACアダプターにさわらない

感電の原因となります。

本体やACアダプターを布団などでおあつた状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

ACアダプターは抜き差しいやすいコンセントに接続する

本機は容易に手が届くよう電源コンセントに接続し、異常に生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。通常の電源を切つただけでは、完全に電源から切り離せません。

本機背面の端子や通風孔に異物を入れない

端子などがショートして、誤動作や故障の原因になることがあります。

雷が鳴りだしたら、ACアダプターに触れない